

# 5町村公民館連携講座

(豊丘村・高森町・大鹿村・松川町・中川村)

伊那坂東

## 三十三番札所巡りの旅

in 中川村

# 4月5日(土) 午前9時～

中川文化センター(中川村片桐4757番地)へ集合



**集 合**：中川文化センター前 午前9時  
**内 容**：札所見学4ヶ所  
三番札所・笠招山実際寺  
五番札所・天神山常泉寺  
七番札所・詠唱山東福寺  
九番札所・観音堂(美里黒牛)  
※各町村の車両に分乗して移動  
**解 散**：中川文化センター前 解散 11時45分頃  
**対 象**：小学生以上、どなたでも  
(関係町村居住者優先)、参加費無料  
※中学生以下は必ず保護者同伴  
**定員等**：30人(関係町村居住者は先着順)  
～ 詳細は裏面をご確認ください。～

主催：なかいな公民館's (幹事：中川村公民館)

○伊那坂東三十三番札所巡り関係5町村(大鹿村・松川町・高森町・豊丘村・中川村)の公民館連合(愛称：なかいな公民館's)では、上下伊那・町村の垣根を越えて、魅力ある札所巡りの活用と保存に向けて、連携した活動をしています。

※伊那坂東三十三番札所のマップは、右の二次元コードからご確認ください！→

URL: <https://www.vill.nakagawa.nagano.jp/site/nakakou/3883.html>

○お問い合わせ先：中川村公民館 電話0265-88-1005 担当：平田



# 5町村公民館連携講座

## 令和7年度 伊那坂東三十三番札所巡りの旅 in中川村 概要

1 日 時 令和7年4月5日(土) 午前中(雨天決行)  
午前9時00分 中川文化センター集合(中川村片桐4757番地)  
※お住まいの公民館から乗り合わせをご希望の場合は、  
下段に記載の各町村公民館までお問い合わせください。  
午前11時45分頃解散予定 中川文化センター

2 日 程 午前 9時00分 集合・点呼  
9時05分 公民館車両に分乗して出発  
9時10分 笠招山実際寺 着・見学  
9時45分 天神山常泉寺 着・見学  
10時20分 詠唱山東福寺 着・見学  
11時00分 観音堂(美里黒牛) 着・見学  
11時45分 中川文化センター 着・解散

3 対象者 小学生以上、どなたでも(関係町村居住者優先)

4 定 員 30名まで(関係町村居住者は先着順)

5 案内人 中川村歴史民俗資料館 学芸員 米山妙子さん  
なかいな公民館's 公民館長・主事



6 持ち物 歩きやすい服装(一部、車両から降りて歩く区間有)、  
水筒、車酔いしやすい方は酔い止めをお持ちください。

7 申 込 期限：3月28日(金) 正午まで

・下記の2次元コードからWEB申込にて、お申し込みください。

※関係町村にお住まいの方は、電話でのお申し込みも可能です。

下段に記載のお住まいの公民館へ連絡してお申し込みください。

WEB申込はコチラから! ⇒

<https://logoform.jp/f/1rSVI>



▲ 三番札所 笠招山実際寺



▲ 五番札所 天神山常泉寺



▲ 七番札所 詠唱山東福寺



▲ 九番札所 観音堂(美里黒牛)

< お問い合わせ先 なかいな公民館's 幹事：中川村公民館 >  
中川村公民館 館長：片桐充昭 主事：平田優哉  
〒399-3802 中川村片桐4757番地 中川文化センター内  
TEL：0265-88-1005 FAX：0265-88-4005  
E-Mail：[nakakou@vill.nagano-nakagawa.lg.jp](mailto:nakakou@vill.nagano-nakagawa.lg.jp)

### ★お住まいの公民館からもお申し込みを受け付けています。

- 大鹿村公民館：0265-39-2100(主事：森上) ○松川町公民館：0265-36-2622(主事：高橋)  
○高森町公民館：0265-35-9416(主事：寺澤) ○豊丘村公民館：0265-35-9066(主事：小石峯)

### ◆伊那坂東三十三番札所とは ◆ ～“遍路”という言葉をご存じですか?～

お遍路・巡礼は、元々、修行僧が弘法大師の修行の跡地を巡って、功德にあやかろうとしたことが始まりとされています。それが四国八十八カ所の巡礼となり、現在では、祈願のために巡ることが一般的になっています。遍路・巡礼は四国が有名ですが、全国各地にあり、伊那谷にも存在します。それが伊那坂東三十三番札所巡りです! 三十三番札所が設定されたのは、1772年～1778年頃とされています。当時の日本では異常な事態が多発しており、世情が不安定な状況でした。そのためか、全国的に巡礼も流行しておりました。そのような時代の煽りをうけ、片桐村(現中川村)の住民からの発願があり、有志や僧侶が集まって相談をした結果、伊那坂東三十三番札所が設定されました。